

2021年11月30日

九州電力株式会社

「九電グループ カーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」を策定しました
— 九電グループは「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現します —

九電グループは、2021年4月に策定した「九電グループ カーボンニュートラルビジョン 2050」において、エネルギー需給両面の取組みとして2つの柱を設定し、「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」に挑戦し続けています。

低・脱炭素の業界トップランナーとして社会のカーボンニュートラル実現に大きく貢献するため、今回、九電グループが目指す2050年のゴールを明確にしたうえで、バックキャストにより2030年の経営目標（環境目標）を上方修正するとともに、これらの達成に向けた具体的行動計画を含む「アクションプラン」を策定しました。

〔九電グループが目指す2050年のゴール〕

- 事業活動を通じて排出されるサプライチェーン全体の温室効果ガス（GHG）を「実質ゼロ」にします
- 電化を最大限推進し、環境にやさしいエネルギーを安定的にお届けするなど、社会のGHG排出削減に貢献します
- これらの取組みを通じて、九電グループは「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現します

〔2030年の経営目標（環境目標）〕

供給側	サプライチェーンGHG排出量を60%削減（2013年度比） 国内事業は65%削減*（2013年度比） ※ 日本政府のGHG排出削減目標46%削減（2013年度比）を大きく上回る水準
需要側	九州の電化率向上に貢献（家庭部門：70%、業務部門：60%）

九電グループは、カーボンニュートラルをはじめとした経営環境の変化を変革のチャンスと捉え、更なる企業成長につなげ、引き続き、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指してまいります。

以上